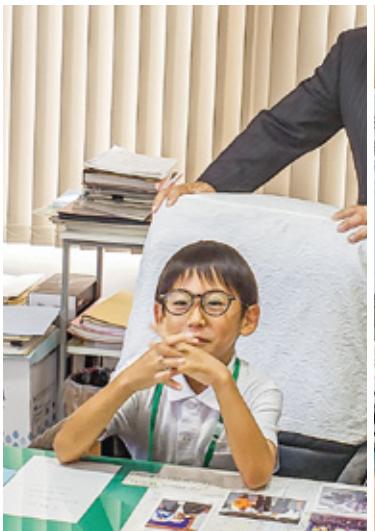


みのぶ

あなたと町政を結ぶ
議会だより

令和7年 9月定例会

No.84



子ども議員が夢を語り町の将来を考える



長田一花議員
(身延小4年)

もっともっと身延町を有名にする取り組みを楽しいお祭りなどを企画して、身延町の美味しい物や、かわいいキャラクター、お寺の文化や歴史などを広めたら、観光で来る人ももっと増えていいと思うがいかがか。



佐野志季議員
(身延小3年)

本を借りて返すことができる車をつくってほしい

本がたくさんのせられる車で、身延町内をまわってもらいたい。出張図書館カーでは本を借りるだけでなく、みんなでおしゃべりもできて、楽しいし、元気も出ると思うが、いかがか。



岡本英将議員
(身延小3年)

人口芝のグラウンドをつくってみたらどうか
クラウドファンディングで資金を集めて、協力してくれた人に身延町の特産品をお礼にしたいと思う。身延町に恩返しができるようなサッカー選手になって、町を盛り上げたい。



千須和海音議員
(下山小1年)

ウェーブプールやスイミングスクールがあったら私は、サーフィンをしている。友達にもサーフィンの楽しさを知ってもらいたいので、ウェーブプールがあったらいいなと思う。スイミングスクールにも通えたらいいと思うが。



遠藤凜議員
(身延中1年)

今回議長を務めてみての感想は
子ども議員のみんなとは、違う視点でみれて面白かった。議事進行は、ゆっくり、はっきり話すことを心がけて取り組んだ。だいたい思っていた通りにできたと思う。いい経験だった。



米沢真斗議員
(身延中1年)

もっと他の町の子どもと交流が出来たらいい

昨年、鴨川市交流事業に参加させてもらい、たくさん交流が出来て楽しかった。後輩たちにも、あの素晴らしい経験をさせてあげて欲しい。近くの町の子どもたちとも交流できたらいいが。

ギカイのトリクミ

子どもたちには、議場の臨場感を感じもらうことを大切にして、通常の議会と同じ形で進行いたしました。子どもたちは、非常に堂々として、そして、目を輝かせて町の未来について、質問や提言をいたしました。『かっこよかったです、傍聴者も17名来場いただきました。



石部生涯学習課長答弁

もっと多くの人が借りやすくなるよう、現在取り組んでいる移動図書館の開く場所や回数を令和8年度から増やしていきたいと考えている。



青嶋観光課長答弁

新しいお祭り『みのぶフェス』の開催に向けて、町外からたくさんの観光客に来てもらえるように準備している。みんなで町を盛り上げていく。



青嶋観光課長答弁

サッカーが上手くなりたいという思いを大切にし、グラウンド等のスポーツ施設を整備する際の貴重な意見として今後の参考にしていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



青嶋観光課長答弁

子どもたちの習い事が、たくさんある中で一人ひとりを応援していく仕組みがないので難しいが、その思いを今後の町づくりの参考としていく。



子ども議員が町へのおもいや提言を発表！

身延町子ども議会初開催



身延町議会では、身延町の未来を担う子どもたちに議会や行政についての関心を深めてもらうことと、開かれた議会の実現への取り組みの一環として、身延町子ども議会を8月8日（金）に開催いたしました。

6名の児童生徒が、上田議長より任命書の交付を受け一日限りの『子ども議員』となり、町長室を訪問、庁内を見学しました。その後、議場にて一般質問を行い、様々な質問や提言に対して、町より答弁をいただきました。

子ども議員に任命！



町長室にて記念撮影



町長の椅子に……未来の町長？

はお金の使いみち

しだれ桜の里づくり事業

1807万円

植栽管理業務委託、配布用苗、令和6年まで総額6億1305万円



健康増進施設運営管理費

5118万円

町民価格適用補填、一部下水道使用料、年間指定管理料2千万円など、年間維持管理費用



スクールバス運行事業

1億3749万円

下山小3、身延小4、身延中7、合計14路線、スクールタクシー4路線の運行委託費用



社会福祉協議会補助金

2835万円

社会福祉協議会運営費補助金、社協の歳入の85%を占める



道路橋梁維持費 道路メンテナンス事業費

2億3528万円

道路整備工事、のり面工事、測量業務などの費用、橋梁の長寿命化事業費用



高齢者福祉事業

1億1046万円

敬老祝金、配食サービス、集落敬老事業補助金、老人保護措置費など、高齢者福祉全般にかかる費用



バス運行支援事業

9564万円

町営バス古関線、身延鰍沢線、飯富本栖線にかかる経費、身延町地域公共交通活性化協議会負担金



障害福祉事業

5億2562万円

医療費助成、自立支援医療給付金、障害児通所支援給付金等の扶助費や負担金、助成金等の費用



子育て支援日本一を目指す施策の一部

学校給食費

9319万円

小中学校給食調理委託費、食材費、水道光熱費、清掃業務、配送経費など、給食事業にかかる費用

学童保育費

3138万円

町内6箇所で運営
小学生対象
児童237人中184人が登録

西嶋学童保育室改修費

1064万円

西嶋学童保育室改修工事費用、内外装仕上げ、建具、照明器具、空調設備改修工事費用

保育事業・民間保育所事業費

3億0625万円

町内公立2園、私立2園の運営経費
委託料、補助金
町外保育園等に通う18人の広域
入所負担金等

令和6年度おもな事業

飯富病院負担金 3億4229万円

飯富病院運営を支える町負担分
負担割合 身延町 73.48%
早川町 26.52%



医療体制を
再構築中

旧中学校校舎等解体工事費 3億0884万円

旧中学校校舎、給食センター、旧身延
小学校体育館等解体工事、および付帯
工事費用



跡地利用計画を
検討中

西嶋和紙の里道の駅化事業 7億6622万円

道の駅化に伴う施設の設計改修費
用など4億8428万円
周辺道路・街路灯の設計改修費用
など2億8194万円



経営改善・利用
者増加を目指す

同意第3号～6号および諮問第2号、第3号

教育委員
任期4年



渡辺 勝 氏
(静川地区)

固定資産評価審査委員(3名)
任期3年



秋山和子 氏
(大須成地区)



柿島利巳 氏
(豊岡地区)



望月由香里 氏
(久那土地区)

人権擁護委員(2名)
任期3年



渡辺美幸氏
(静川地区)



松野 拓氏
(大河内地区)

本会議 討論

認定第1号 令和6年度身延町一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について 可決

反対 渡辺文子議員

【一般会計決算】

遠藤公久議員 賛成

選挙管理委員会では、人口減少が著しいなどの理由で、町内に20カ所あった投票所を半分の10カ所に減らした。デマンドバスの運行をするから投票所をなくしてもよいという問題ではなく、住民の権利に関わる大切な問題のため。

高齢化が進む当町においては、高齢者に寄り添った施策が必要であり、デマンドバス型交通支援や移動期日前投票所の設置などで投票支援を実施した予算執行であることから、適正な歳出と考えるため。

【後期高齢者医療特別会計決算】

国民を年齢で区切り、高齢者を別枠の医療保険に強制的に囲い込んで、負担増と差別医療を押しつけるため。

高齢者の方々の健康と福祉を支え、経済的な公平性を実現し、地域医療機関と連携しつつ、健康で元気な生活を取り戻すことが最も重要であるため。

【介護保険特別会計決算】

訪問介護基本報酬が引き下げられ、訪問介護事業所とりわけ小規模零細事業所が経営難に陥り、在宅介護の基盤が壊滅的になる恐れがあるため。

3億933万1,458円を一般財源より繰り入れ、保険料値上げの抑制の努力を行い、子どもや孫の世代に負担を残さないように努めているため。

第1回臨時会 令和7年7月31日

— 議案第58号 早川町・身延町・南部町医療事務組合の設置について —

可決

提案理由

一部事務組合の設置については、地方自治法（昭和22年法律第67号）第284条第2項の規定により、関係地方公共団体との協議が必要であり、この協議には、同法第290条の規定により議会の議決を要する。これがこの議案を提案する理由である。

— 議案第59号 令和7年度身延町一般会計補正予算（第3号） —

可決

歳入歳出予算総額9,351,348千円（6,956千円を追加）

内容：医療整備事業費（福祉保健課）6,956千円増額

※早川町・身延町・南部町医療事務組合負担金

— 議案第60号 身延町同報系防災行政無線親局設備更新工事請負契約について —

可決

1. 契約の目的 身延町同報系防災行政無線親局設備更新工事

2. 契約の方法 一般競争入札による契約

3. 契約金額 42,564,500円

4. 契約の相手方 山梨県甲府市中央4-12-25 株式会社関電工山梨支店

令和7年
第3回定例会
(9月2日~11日)
会期 10日間
おもな議案

決算認定3件など

合計28議案

原案可決

※1万円未満は切り捨て表記

認定第1号 令和6年度一般会計歳入歳出決算認定

歳入総額	107億5600万円
歳出総額	99億4371万円
実質収支額	7億8084万円

公営企業会計

認定第2号 令和6年度水道事業会計決算認定
認定第3号 令和6年度下水道事業会計決算認定

水道事業会計繰入金	4億0037万円
下水道事業会計繰入金	2億4392万円

一般会計からの繰出金を、それぞれ繰入金として計上して、収入不足分を補っているのが現状である。

ギカイのシテン

供給単価 約124円
給水原価 約316円(1m³あたり)

ギカイのシテン

繰入金? 繰出金?

※一般会計からの公営企業2会計への繰出金が増加傾向にある。事業の独立採算を保つためには、料金を約3倍にしなければならず、現実的には不可能である。経費削減と経営の合理化、料金の適正化が今後の課題である。一般会計からの繰出金は、受け入れる会計側からみると繰入金となる。

一般会計から特別会計への 繰出金の一部

国民健康保険繰出金	1億2013万円
後期高齢者保険繰出金	2億8458万円
介護保険繰出金	3億0933万円
介護サービス事業繰出金	304万円

16の特別会計

認定第1号 令和6年度特別会計歳入歳出決算認定

歳入総額	42億0929万円
歳出総額	39億2637万円
実質収支額	2億8292万円

町の貯金(基金)と借金(町債)は?

基 金 合 計	75億1906万円
一般会計町債額	73億5202万円
公営企業会計町債額	36億4757万円
町 債 合 計	109億9959万円

ギカイのチュウシ

昨年度より約6億円減りました

飯富病院負担金の一部1.3億円
旧中学校校舎解体工事一部1.9億円などへ充当

昨年度より約8.9億円減りました

約5.2億円合併特例事業債繰上償還実施

答 定員98人に対して、現状は89人である。報酬ではなく実費弁償である。

望月悟良委員

老人保護措置費4788万464円は全て老人措置費か、ほかに支出しているものは。

答 在宅重度心身障害者等介護人見舞金55万円が含まれている。

(介護保険特別会計)

渡辺文子委員 認定状況で1号被保険者数が減少しているのに、認定率が下がっているのは。

答 被保険者数が減少すれば認定率は上がると考えられるが、介護保険の認定を受ける方が減少しているため認定率が下がっている。

下部支所関係

(下部奥の湯温泉事業特別会計)

佐野昇副委員長 特別会計委託料のうち、調査・研究委託料の内容は。

答 温泉源泉の定期調査で、泉温、湧出量、井戸の水位など湧出状況や降水量との相関関係の分析をし、温泉資源の動向を確認するものである。

学校教育課関係

渡辺文子委員 学校の検診を受けられなかつた児童生徒への対応は。

答 学校から保護者に通知し指定の病院で受診して、結果を学校へ報告してもらう。検査にかかる個人の費用負担はない。

生涯学習課関係

山下利彦委員 歴史民俗資料館等施設の集約化により、収蔵品を活用する考えは。

答 施設の集約化はこれまで検討してきた。収蔵品の取り扱いや施設の大きさの課題もあるが、今後も検討を進めていく。



◎歴史民俗資料館(八日市場)



◎身延町综合文化会馆大ホール

田中一泰委員 総合文化会館は費用がかかっても著名な人物を呼んで、町民に文化交流や芸術に親しんでもらえるようにもっと活用してほしい。事業実施を望むが。

答 数年前まで年3、4回著名人を呼んで自主事業ができるでしたが、財政状況を鑑みて現在はなるべく費用をかけない形で事業を行つている。NHKの公開収録や宝くじ文化公演に申請したり、自衛隊や警察隊のコンサートを誘致したりするなど、事業の充実を図つてていく。

遠藤公久委員 ふるさと応援基金への積立は寄付者の意向か。

答 寄付金の使い道については「町長におまかせ」をお選び頂いており、新庁舎建設費等に活用させて頂く旨を確認積立とした。

▼議案第71号
令和7年度一般会計補正予算
(第4号)

◎解体前の梅平団地



◎整地された跡地



佐野昇副委員長 予算で世帯住宅取得支援事業補助金は、既に実施している移住・定住祝金と別のものか。

答 まったく別の施策であり、重複受給が可能である。

建設課関係

遠藤公久委員 住宅管理費の移転補償費8件について、入居者の移転先はどこか。

答 町営や県営住宅を中心に、本人の希望に沿つた移転先で進めてている。

福祉保健課関係

渡辺文子委員 高齢者補聴器購入費助成金の助成対象者は何人を想定か。

答 第1段階から第3段階の方を10人、第4段階の方を10人、合計20人を想定している。

現地視察

9月2日(火)

◎しだれ桜の里



新鉄塔(左)・旧鉄塔(右・撤去中)



植栽管理業務や鉄塔移動等の説明を受ける

◎中富浄化センター



交換する設備の前で説明を受ける



交換する設備



浄化センターの施設や電気設備改築工事等の説明を受ける



▼議案第62号
身延町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

田中一泰議員 部分休業の時間は有給か。

答 無給である。

◎中富浄化センター汚泥棟

▼議案第62号
身延町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

広島法明委員 子1人につき育児休暇の取得可能期間は3年であるが、育児休暇中に第2子が誕生した場合は、2まで育児休暇が取得できる。

答 第2子の3歳の誕生日前日まで育児休暇が取得できる。

▼議案第61号
身延町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

総務課関係

望月悟良委員 子1人につき育児休暇中に第2子が誕生した場合は、2まで育児休暇が取得できる。

▼議案第61号
身延町勤労青年センター条例を廃止する条例について

教育厚生常任委員会 委員長 伊藤達美



◎身延町勤労青年センター(宮木)

▼議案第64号
身延町勤労青年センター条例を廃止する条例について

生涯学習課関係

望月悟良委員 普通財産に移行後、管理が財政課となるので、貸し出しや売却等については財政課で検討していく。

▼議案第64号
身延町勤労青年センター条例を廃止する条例について

生涯学習課関係

望月悟良委員 普通財産へ移行後の施設活用方法は決まっているか。

教育厚生常任委員会 委員長 田中一泰

▼議案第65号
身延町下部リバーサイドパーク条例の一部を改正する条例について

生涯学習課関係

佐野知世委員 黄金の足湯の給湯管の修繕費はどの程度かかるのか。

答 400万円程度かかるとのことで同温泉を利用した足湯が、身延町スポーツ健康増進施設ヘルシースパサンロードしもべの湯にもあることから、足湯機能を集約し、黄金の足湯は終了する。

渡辺文子委員 足湯の建屋は撤去解体はせず、別の利用を検討する」とあるが。

答 下部リバーサイドパークには、来場者が雨風をしのげる施設がないので、足湯の建屋は来場者の休憩所として、浴槽部分を改修する中で残す方向で検討している。

生涯学習課関係

佐野知世委員 黄金の足湯の給湯管の修繕費はどの程度かかるのか。

答 400万円程度かかるとのことで同温泉を利用した足湯が、身延町スポーツ健康増進施設ヘルシースパサンロードしもべの湯にもあることから、足湯機能を集約し、黄金の足湯は終了する。

田中一泰委員長 体育館は避難所に指定されているので、交通防災課で代替施設を検討している。

答 体育館は避難所に指定されているので、交通防災課で代替施設を検討している。

第3回定例会
9月3日(水)

一般質問

8人登壇

一般質問とは、議員が町の一般事務に対してその執行の状況又は将来の方針、政策的提言や行政の課題などを執行者に直接質することです。また、執行者の所見や施策について報告を求めたり問い合わせたりすることもあります。質問の範囲は、町の行財政全般(公共事務、団体委任事務、行政事務の一切を含む)のほか、地域で住民生活に密接している事項など多岐にわたっています。

1 深山光信 議員

- ① 身延町社会体育施設の利用について

2 山下利彦 議員

- ① 地域活性化のための耕作放棄地対策について
- ② 峠南南部医療体制の指定管理者制度による公設民営化について

3 遠藤公久 議員

- ① 町外中学校に通学する生徒の支援について
- ②マイナンバーカードの当町における現状と課題について
- ③ しだれ桜の里づくり事業について
- ④ 学校における校務のDX化推進について

4 伊藤達美 議員

- ① 身延町第三次総合計画の策定について
- ② にしじま和紙の里かみすきパークに対する利用者の評価について
- ③ 引きこもりと心の病との関係性について
- ④ 地域おこし協力隊の新規隊員の採用の状況について
- ⑤ 住宅や宅地を中心とする社会基盤整備への投資について

※ここに掲載の順位は質問の通告順によります。紙面の関係上、次頁からの掲載の内容は質問を一部抜粋し要約したものを掲載しています。すべての項目は、各議員の一般質問のページのQRコードからYouTubeよりご覧ください。

【
御
礼】

20人の皆様が熱心に傍聴されました。お忙しい中ご来場いただき、誠にありがとうございました。次の定例会は、令和7年12月に開催の予定です。どなたでも傍聴できますので、ぜひお越し下さい。詳細日程は議会情報のウェブサイト等でお知らせします。

5 伊藤雄波 議員

- ① 三沢～市之瀬間バイパスの件について
- ② 道の駅にしじま和紙の里かみすきパークについて
- ③ 富士川中流域の釣り人増加について

6 佐野 昇 議員

- ① にしじま和紙の里かみすきパークについて
- ② 安心安全な町づくり、獣害について
- ③ 住宅政策の拡充による若者定着について

7 佐野知世 議員

- ① 身延町橋梁個別施設計画について
- ② ツキノワグマの出没について
- ③ 本栖湖のヒメマスについて
- ④ 結婚活動の支援について

8 渡辺文子 議員

- ① 移動スーパー事業について
- ② 地域医療をどう守っていくのか
- ③ 補聴器購入費用の助成制度を

問 社会体育施設の月曜日の利用を許可しない日について 規則の見直しを検討する考えは

答 規則を変更する予定はないが、管理者は特に必要があると認めるときは、変更することができる（生涯学習課長）



社会体育施設は「月曜日」が利用できない

問 「月曜日」を利用の許可をしない日としている根拠やその理由は。

生涯学習課長 土、日曜日に大

勢が施設を利用する中で、施設の維持管理や職員の負担軽減のため施設の清掃、メンテナンス、修繕を計画的かつ効率的に行うことを利用の許可をしない日を設ける目的とし休日明けの月曜日を休館・休業日としている。

生涯学習課長 各施設の職員

の配置の有無にかかわらず、3名の生涯スポーツ担当職員が、グラウンド、体育館、テニスコート、弓道場など多数の社会体育施設を一括で管理している。休業日を設けることで、職員の負担軽減をし

つつ利用者に不便をかけることなく、修繕やメンテナンス計画が立てやすくなる。

問 町民の誰もが平等に、そして柔軟に社会体育施設を利用できる環境を整えることは、町民の「健康増進」や町の「地域コミュニティの活性化」にもつながると考える。月曜日の利用の許可をしない日について規則の見直しを検討する考えはないか。

生涯学習課長 「管理者は特に必要があると認めるときは、同項の日を変更することができる。」とあるので、必要に応じて担当までご相談いただきたい。



下部グラウンド

問 耕作放棄地は地域の景観や防災・鳥獣害の拡大など複合的な課題を引き起こしている。今後の対策は

答 農地の管理は基本的には所有者である。農業委員会で相談を受けたあと現地確認を行い、所有者に適切な管理について通知している（産業課長）



新規参入支援について

問 耕作放棄地対策には若者や企業の新規参入支援が必要だ。自治体による初期投資、設備導入への相談体制や農地の集積・貸借における農地所有者との交渉支援、地図上での農地情報の見える化などの環境づくりが不可欠と考えるが、現状は。

産業課長 国の「経営開始資金」

の補助制度、農業用機械のリース料を軽減する県の補助制度の紹介や、農地の交渉支援は随時、産業課窓口で相談に応じている。遊休農地の地図上での情報表示については、導入・更新等の費用の問題があり、今後の検討課題としている。

農業ビジョンについて

問 農業従事者の高齢化と後継者不足は、農地の荒廃や地域の営農基盤の弱体化が懸

念されている。町の農業を来に繋ぐには、農地の維持と活用、そして何より「人の力」が必要不可欠である。農業に夢と希望を持てる制度の整備、地域の受け入れ体制づくりなど、耕作放棄地が年々増えている現状から、若者や企業の参入促進などを含めた農業に対するビジョンをどのように描いているのか。

産業課長 地域組織の新規立ち上げ、ネットワーク化等、町でも地域組織をサポートしながら、農業政策が衰退しないように取り組んでいく。新規参入にあたっては、既存の補助事業を周知・活用していただく中で、積極的に受け入れ支援を行っていく。



増え続ける耕作放棄地

問 しだれ桜苗木配布事業により過去に配布した717本について、実態調査・管理は行われているのか

答 現存する本数についての実態調査は、数カ所は確認したが、717本すべては行っていない。今後、現状把握に努める(観光課長)

学校教育課長 本人や保護者の住所に関係なく、身延町立の小中学校に在籍している児童生徒が補助対象である。町外住地の補助対象者は5名である。

校務のDX化をさらに進め
印刷物・配付物の削減を
進めるべき

問 町内3小1中のDX化に対する
現状分析と今後の対応は。

学校教育課長 DX化の取り組み
は、学校間でも差がある。研
修の充実、情報共有の促進
ICT支援員のサポートなど、教
職員の意識改革とスキルの向
上に努め、ペーパレス化など
校務の効率化につなげたい。

The image shows the exterior of a modern school building with a light-colored facade and blue-framed windows. A blue sign on the building reads "MINOBU 身延中学校" and "Junior High School". A street lamp is visible in the foreground on the left.

町外中学校に通う生徒にも
修学旅行費補助など
町内中学生と同様な支援を



えんどう きみひさ
遠藤 公久 議員

全編は
こちら

学校教育課長 入学支度金が、経済的な「町民ファースト」、「平等性の確保」の観点にたつた支援策である。一方、学校の設置者として、子どもを地元の公立小中学校で学ばせたいと思える教育環境を実させる使命を担っている。子育て世代に手厚いこれらの方策は、身延町立の小中学校に進学するメリットと捉えてもらいたい。

問 身延町第三次総合計画の策定について、町外で働く人たちや若い女性たちの意見をどのような形で計画に反映させるのか

答 総合計画審議会委員の他に町内で活躍する10名ほどのメンバーを加えた
町民ワークショップを定期的に開催し、議論を深めていく（企画政策課長）

にあたっては、**町民アンケート**、**ワークショップ**などにより町民の意識を把握し、**府内**で構成する**策定委員会**を中心^に原案を取りまとめ、審議会に諮りながら策定作業を進めていく。スケジュールは、令和7年度から2か年で作業を進めていく。今年度に基本構想を策定し、令和8年度に前期基本計画及び実施計画を策定する。

合計画審議会委員の他に町内で活躍する10名ほどのメンバーを加えた町民ワークショップを定期的に開催し、議論を深めていく。そして、計画の素案ができた段階でパブリックコメントにより町民から意見をいただく。

第二次総合計画の概要

企画政策課長 審議会委員をはじめ、広く住民の声を聴くことにより、町民の意向を十分

パブリックコメント

問 三沢～市之瀬間バイパス建設は、身延町と市川三郷町で最優先事業として、議会で可決されたが町長の考えは

答 令和7年第1回定例会において的一般質問で答弁したとおり変わりない
(町長) ※みのぶ議会だより第82号12ページ参照



町長 これまで議会において採択された3件の請願に対する考え方、令和7年第1回定例会において伊藤達美議員からの一般質問で答弁したとおり変わらない。

三沢～市之瀬間バイパス建設個人の意見としての報告を受けた後、発議第2号「三沢～市之瀬間バイパス建設」請願を最優先事業とする決議案を提出、身延町議会において賛成多数で可決された。市川三郷町議会でも、令和7年第2回定例会で最優先事業とする決議案が全会一致で可決された。まさに町民の声である。このバイパスの実現は南山梨の観光周遊の活性化、身延町、市川三郷町、富士川町の町づくりに繋がり、各町とも多大なメリットがあると考えるが、改めて町長の考えは。

三沢～市之瀬間バイパス

問 富士川流域を訪れる釣り人は、車中からも確認できるほど増えたが、その反面マナーの悪さも目立ってきた。釣り人の増加は観光コンテンツのひとつである。釣り人に何度も来てもらい、身延町にあらうことには、レジャー的な要素において整備の必要性が生じるのではないか。観光部門と調整し、誘導看板設置や駐車スペースの確保、マナー告知看板等の設置を検討すべきと思うが。

産業課長 漁協とも連携をとりながら、友鮎や遊漁券を販売する際に注意事項を記載したチラシの配布も検討していく。マナー面等も含めレジャー的な要素で支援の必要性が生じた場合は、漁協や観光部門、河川管理者と連携をとりながら、調整のうえ検討していく。

富士川中流の釣り人増加

問 富士川流域を訪れる釣り人は、車中からも確認できるほど増えたが、その反面マナーの悪さも目立ってきた。釣り

問 にしじま和紙の里は、地域全体と連携してエリアプランディングを図るとしているが、運営状況は

答 全体的に見ると順調に進んでおり、町内の観光施設等を周遊して頂けるように来場者へのPRを心がけている(観光課長)



町長 これまで議会において採択された3件の請願に対する考え方、令和7年第1回定例会において伊藤達美議員からの一般質問で答弁したとおり変わらない。

観光課長 ふれあい館では、これまで各種イベントを行つてきたり。また団体客への昼食の提供場所としても利用している。紙漉き体験者は、7月末で1880人で令和5年度は延べ3017人だったことから、多くの方が利用していることがわかる。今後の活用については、イベントを随時開催し団体客も積極的に誘致し、昼食会場としての利用も増やしていく。

イベント開催 物産展などの誘致は

問 事業計画と共に収支計画が説明されているが、令和7年度、1年目の計画に対してもすでに4ヶ月以上が経過している。年間収入計画は、1億4378万2983円、支出合計は、1億4350万円になっている。計画の進捗状況は。



観光課長 収入合計については、7月末までの収入に基づき試算すると計画を下回る数字に近づけるよう努力していく。

問 まずは地元地域との繋がりを大切にして地域の皆様と同じ方向を向いてイベントを開催することとしている。事業計画と共に収支計画が説明されているが、令和7年度、1年目の計画に対してもすでに4ヶ月以上が経過している。年間収入計画は、1億4378万2983円、支出合計は、1億4350万円になっている。計画の進捗状況は。

問 町が有する橋梁は毎年の簡易点検と5年毎の定期点検を行うこととなつてゐるが、大規模な自然災害が起きた後の点検に対する考えは

答 大雨や台風通過後には、橋梁、トンネル、その他道路構造物に異常が無いか確認を行つてゐる（建設課長）



問 本栖湖のヒメマス保護について
答 令和4年11月に本栖湖において外来種であるレイクトラウトの生息が確認され、調査

問 下部温泉郷のメロディーブリッジ現況
答 ふれあい橋は直近では令和5年10月に橋梁点検を実施し、健全性診断結果は良好である。町が管理する橋梁には修繕を必要とする橋梁が多くあり、緊急性の高い橋梁から修理対応している。ふれあい橋については現状、塗装を含め修繕は必要ないと判断している。



下部温泉郷のメロディーブリッジ現況

問 下部温泉郷のリバーサイドパークに架かるメロディーブリッジなどは、景観も重視した橋梁であることから塗装の耐用年数がまだあるかもしれないが、調査検討の予定は。

身延町橋梁
個別施設計画について

産業課長 各庁舎や道の駅、本栖湖の観光案内所、浩庵などにチラシを設置した。また、甲府の釣具店の店頭にて町職員が直接来店客にチラシを配り、釣り大会の周知と募集をした。

の結果、ヒメマスの成魚や魚まで食べてしまつたことがヒメマスの不漁の原因であることがわかつた。その対策の一環として、10月5日にレイクトラウトの釣り大会を実施すると町ホームページにあるが、その他にも告知した経緯がある。

問 安心して住み続けるために、地域医療をどう守っていくのか

答 全国町村会行政委員会において、財政措置を講じるとともに診療報酬の中間年改定の仕組みを創設・実施するよう国に要望書を提出した（町長）



問 町長 経営の安定化を図るために、物価高騰や賃上げ等を踏まえた一層の財政措置を講じること。社会経済情勢に応じた診療報酬の中間年改定の仕組みを創設するとともに実施すること、以上2点を自治体病院への支援として必要であると考え、全国町村会として、令和2年8月4日、国との関係機関に対し要望書を提出した。

地域医療をどう守る

問 新型コロナウイルス感染症の補助金がカットされ、診療報酬が物価・賃金の上昇に対応して上がつていらない。医療機関の経営状況はどこも厳しいと聞いた。医療機関の経営維持のために診療報酬や補助金など町として国に対し要望はできないか。

福祉保健課長 1病院・3診療所体制へ転換する取組みを通じて医師や看護師等の医療職がある程度1か所へ集約し、これによって救急患者の受入れをはじめとする入院医療提供体制を強化し現状の救急応需率の改善になげたいと考えている。

問 福祉保健課長 基本的には各病院、病院間、診療所への公共交通施策に委ねることと考えているが、新一部事務組合と指定管理候補者の動向を見ながら、適切な運行方法を検討していく。



救急車の受け入れはどうなる？

議案に対する賛否

(賛成:○・反対:×・欠席:欠)

市川 遠藤公久 深山光信 佐野 昇 山下利彦 佐野知世 伊藤雄波 望月悟良 広島法明 野島俊博 田中一泰 渡辺文子 上田孝三 伊藤達美

●決算認定	
認定第1号	令和6年度身延町一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について
認定第2号	令和6年度身延町水道事業会計決算認定について
認定第3号	令和6年度身延町下水道事業会計決算認定について
●報告	
報告第7号	令和6年度決算に基づく身延町健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
●条例の一部改正	
議案第61号	身延町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
議案第62号	身延町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
議案第63号	身延町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について
議案第65号	身延町下部リバーサイドパーク条例の一部を改正する条例について
議案第66号	身延町社会体育施設条例の一部を改正する条例について
議案第67号	身延町水道給水条例の一部を改正する条例について
議案第68号	身延町下水道条例の一部を改正する条例について
議案第69号	身延町農業集落排水施設等条例の一部を改正する条例について
●条例の廃止	
議案第64号	身延町勤労青年センター条例を廃止する条例について
●計画の変更	
議案第70号	身延町過疎地域持続的発展計画の変更について
●補正予算	
議案第71号	令和7年度身延町一般会計補正予算(第4号)
議案第72号	令和7年度身延町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
議案第73号	令和7年度身延町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
議案第74号	令和7年度身延町介護保険特別会計補正予算(第2号)
議案第75号	令和7年度身延町水道事業会計補正予算(第2号)
●人事案件	
同意第3号	身延町教育委員会委員の任命について
同意第4号	身延町固定資産評価審査委員会委員の選任について
同意第5号	身延町固定資産評価審査委員会委員の選任について
同意第6号	身延町固定資産評価審査委員会委員の選任について
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求ることについて
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求ることについて
●請願	
請願第2号	学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書
請願第3号	医療機関の事業と経営維持のための診療報酬の再改定を求める請願書
●追加案件	
発議第4号	学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書案の提出について
発議第5号	医療機関の事業と経営維持のための診療報酬の再改定を求める意見書案の提出について
●規約の制定	
議案第58号	早川町・身延町・南部町医療事務組合の設置について
●補正予算	
議案第59号	令和7年度身延町一般会計補正予算(第3号)
●契約	
議案第60号	身延町同報系防災行政無線親局設備更新工事請負契約について

第3回定例会(9月2日~11日)

第17回月臨時会(31日)

町長行政報告

「みのぶまつり」に代わるイベントとして、新たに「みのぶフェス」を10月18日(土)富士川クラフトパークを会場として開催します



身延町長
もちづき
望月 駿也
みきや



全編は
こちら

- ① 令和7年度普通交付税額は42億2047万2千円で、令和6年度と比較して、7295万3千円、1.8%の増額となりました。
- ② 第三次身延町総合計画策定のため、7月7日に20名の委員からなる総合計画審議会を設置し、計画策定について諮詢しました。
- ③ 早川町・身延町・南部町医療事務組合の設置については、3町長の連名で山梨県に申請を行い、9月1日の設置許可を受けました。
- ④ 令和6年度身延町一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定
令和6年度身延町水道事業会計決算認定
令和6年度身延町下水道事業会計決算認定
全会計において、黒字決算となっています。

【功労者表彰】

編集委員として5年以上在職
し、功績顕著なる者

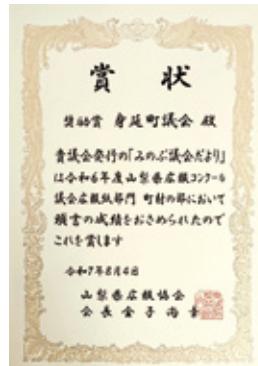
望月悟良議員



山梨県広報協会表彰

【奨励賞】

「みのぶ議会だより」(第80号)



9月
30日
26日
24日
18日
13日
2日
11日
第3回定期会
第3回議会広報編集委員会(第84号)
第3回本栖湖西岸クリーン大作戦
教育厚生常任委員会
教育委員会
第2回議会広報編集委員会(第84号)
身延中学校輝桜祭開会式

8月
4日
9日
10日
14日
11日
28日
31日
29日
30日
委員長行政調査(富山県)
第1回臨時会
第4回議員全員協議会
第5回議員全員協議会
第6回議会運営委員会
議会改革推進特別委員会
子ども議会

7月
4日
9日
10日
14日
11日
28日
31日
29日
30日
町村議会議長・議会運営
議会改革推進特別委員会
町村議会広報研修会(東京都)
第5回議会運営委員会
第4回議員全員協議会
第1回議会広報編集委員会(第84号)

◎主な議会の動き【令和7年7~9月】

山梨県町村議会広報
研究協議会表彰

身延町観光協議会と議員との懇談会

身延町議会では、身延町観光協議会（会長 佐野慈一）との懇談会を開催しました。設立や役割、事業内容などの説明をいただき、課題や要望などを伺いました。



懇談会の様子



身延町観光振興ビジョン



佐野慈一（中央）からの説明

これまで身延山観光協会、下部観光協会、本栖湖西部観光協会の3団体がそれぞれの地域と連携し、観光振興を図ってきたが、町の観光振興に関する団体はなかった。平成17年には身延町観光連盟が設立され、その後令和4年に身延町全域の観光業や商工業の振興を図る目的で身延町観光協議会が設立された。

当協議会は新たに策定された「観光振興ビジョン」に基づき、地域資源を活用することにより、各種団体が連携して地域観光を推進することを目的としている。

具体的な事業は

観光目的等が日々変化する中で、本町を訪れる人に満足していただくために町内の観光資源の有効活用を図っている。また、イベント情報や観光施設等への来訪状況等を共有するため、毎月定例会を開催している。

設立と役割

日 時	令和7年7月9日（水）午後1時半～午後3時
会 場	身延地区公民館 下山分館
参 加 者	団体7名・議員14名 観光課4名・事務局2名

現在、和紙製造組合員は7事業所で、一時期の20件から大きく減少した。パルプ原料の供給も減少したため原料部では地元の工場へ供給するほか、外注として稻ワラ・葦などをパルプ化するため、30社から受注を受けている。財源確保のためにも、より多くの受注に繋がることが必要である。

西嶋和紙の課題

昔から湯治温泉として歴史と伝統がある。昭和レトロな温泉街として復活し、インバウンドやリピーターの確保に繋げること。また先進地でもある富士河口湖町等の成功事例など情報収集し、共有化することも必要である。

下部温泉郷の課題

本栖湖西部の課題

平日客の50%が外国人（アジア圏）である。キャンプ場の利用はコロナ感染症以降減少しており、反対にコテージの利用は増加傾向である。

本栖湖エリアでは駐車場の確保（二次交通）が問題である。駐車場の整備について行政における対応を願う。

観光課 駐車場の確保について、本栖湖エリアは国立公園区域にあるため、開発行為に制限がある。町としても検討したい。

モニター通信

(議会だよりNo.83の意見・感想等)

議会広報モニターの皆様のご意見・ご感想等を要約したものです。
貴重なご意見等を参考に、町民の皆様に見やすく伝わりやすい議会
だよりを目指します。

表紙写真 下山小学校3年生による あけぼの大豆の種蒔き(R7.6.20) (P1)

○小さな背中が並んで微笑ましく、穴の中の大豆に土をかける瞬間を上手にとらえた写真ですね。収穫まで順調に生育しますように。

○とても微笑ましいカットであるが、「広報みのぶ」にも同じようなカットが多くみられるので、議会と議会の2~3か月の間における活動や研修、委員会活動等の1コマを表紙にしてはどうでしょうか。一目で「議会だより」と分かるのではありませんか。

町民と議員との懇談会(P2~P4)

○漠然と町民から意見を聞く会は回数を減らしたらどうでしょうか?今後は1つのテーマに絞り議会の案を示して、その問題に限定して町民の意見を聞く場にし、その意見も考慮して町に提案・要望を出したら効果的かと思います。地域別、毎回でなくて良いですから実施してください。

令和7年度身延町議会 ふれあい懇談会(募集)(P5)

○身延門内、下部温泉地区などは宿泊事業者が多いため、土曜の夜は参加が厳しいです。地区によっては平日の開催も検討して頂ければ参加者は増えると思います。

○ふれあい懇談会の企画は評価できる。すでに行なったところの意見や要望が、どの様な形として行政に反映されたか、このコーナーと併せ報告できるようなスペースの確保をすべきだと思います。

令和7年度 第2回定例会おもな議案(P6~7)

○結論「いずれも原案可決」を、文頭の大きな文字を見せて、議案数、予算額合計表示し、以下個々の案件を説明する、とても見やすく分かり易いです。

○構成、配色などとても読みやすいものになっている。

常任委員会レポート(P8~9)

○議案について委員会で詳細に検討されていることが分かるようにまとめられています。写真も効果的です。

○とても目に優しい色合いで読みやすい。内容も簡潔にまとめてあり、質問と答えが的確で読んでいても非常に把握しやすい。所々配置されているカット、写真も本質を得ている。

議案に対する賛否 一般質問見出し(P10)

○見出しがあると、議員の質問事項の全てが分かるため、一般質問のページも読み易いし、議員の考え方が理解し易いです。

一般質問(5人)(P11~13)

○毎回同じ議員が一般質問されている印象です。町民は全ての議員の活動内容に注目しています。活動の評価を図る一番の材料は一般質問だと考えます。大変だと思いますが頑張ってください。

○「議会だより」で一番興味関心があるのは、この一般質問のページである。この議員が、あの議員がどのような質問をするのか、どのような考え方なのか顕著に分かるページである。できればページ数の増加や町民の声を反映するためにも質問者が数多く出ることを願う。

議会広報モニター意見交換会(P13)

○千の風の皆さんが議会だよりを毎号朗読奉仕されていることを知り有意義でした。

千の風の皆さん、いつも朗読奉仕ありがとうございます。

令和7年度町長行政報告 全国町村議会議長会表彰(P14)

○町長行政報告は、項目ごと簡潔にまとめられています。ヘルシースパ、道の駅にじまともに、順調な利用状況とのことでよかったです。自治功労者表彰のお二人、おめでとうございます。

モニター通信(P15)

○各モニターさんそれぞれに、意見や感想をお持ちになっていて、「なるほど」「ああ、そうか」といつも感心して読ませて頂いています。できればモニターさん以外の町民の方の、意見や感想等を聞きたいものです。

おじゃまします(P16)

○峡南生き活き元気プロジェクトについて、5年前からの活動で103名も参加と、とても素晴らしいです。活動を進めるには苦労もありますが代表の方々、引き続きご尽力頂きたいと思います。

○「おじゃまします」は、ほっこりした気持ちにしてくれる。このようなページをもっと増やしてもいいと思います。

○新茶の茶摘み体験、高齢化が進み茶畠も荒れ放題、ボランティアの力を借り素晴らしい事業です。

○「峡南生き活き元気プロジェクト」の存在を初めて知りました。特定の目的に向かって多くのプロジェクトが発足、実践していくと身延町も活性化すると思います。町民にもっとPRしたほうが良いと思います。

町政へのご意見・ご要望

○クマの被害の目撃情報は共有されているが、身延町の生息数及びクマ対策について教えて下さい。

過去の議会だよりは、
こちらから▶▶▶
閲覧できます。



おじましまします

みのわん

古関観音太鼓同好会

和太鼓は古くより伝統芸能として、近年では新しい音楽として愛され親しまれています。

そんな太鼓の響きを体で感じながら「太鼓は楽しく打つ」をモットーに、大人も子供も励ましあいながら活動しています。現在、会員6名と協力会員3名の計9名で、少人数ではありますが、前向きに稽古に励んでいます。



第33回山梨県ふるさと太鼓まつり
出演の練習中です！



会員募集中！

お気軽にご連絡下さい

練習日

毎週火曜日 午後7時30分～9時

場所

久那土体育馆



西嶋和紙の里イベント出演

編集後記

議会広報編集委員会

副委員長
委員長

佐山下野知利世彦
佐野望月悟良
佐野遠藤公久
深山光信

最後までお読み頂き
ありがとうございます。
「議会だより」は、町民
と議会をつなぐ大切な
架け橋です。皆さまか
ら頂いたお声が、より
良い議会運営、そして
「議会だより」作成の大
きな力となつております。
今後とも忌憚のな
いご意見・ご要望を是
非お寄せください。皆
さまと一緒につくる広
報紙を目指して参りま
す。(山下)

お問い合わせ

代表者 渡辺将樹

連絡先

090-8311-0180